

キンセイラン及びナツエビネの種子発芽とその後の生育

春木和久

摘要

無菌播種によるキンセイランとナツエビネの増殖法を検討した。

1. キンセイランは、8月以降に採取した種子を用い、MS培地またはハイポネックス培地に播種して20℃で培養するとプロトコーム形成が良好であった。
2. ナツエビネは、9月下旬頃にリンゴ培地またはハイポネックス培地に播種し、25℃で培養するとプロトコーム形成が良好であった。
3. キンセイラン、ナツエビネとも、発芽適温より高い温度で培養すると胚が褐色の球状体になり、生育が停止し、FDA染色により枯死していることが確認された。
4. キンセイランとナツエビネのプロトコームは約1年間培養することによって幼植物体となり、容易に順化することができた。